

# 小中合同交通防犯安全点検

(和木町立和木小学校、和木中学校)

## <ねらい>

「町ぐるみ『和木学園』」構想に基づく学校・家庭・地域が連携した教育活動を推進する中で、拠点校におけるコミュニティ・スクールの仕組みを有効に活用して、学校を支援する町教育委員会等の機関との組織づくりも進め、小中連携による学校安全に係る「チーム学校」の構築を図っていく。

町教育委員会が所管する見守り隊と小学校等との連携や小中連携も進んでいるところであるが、情報共有や協働の効果的な方策を探り、より連携した体制づくりを進めたい。

そこで、小中合同の安全点検を実施し、和木町の安全面を拠点校を中心に子どもたちから広めていく。安全点検後には、中学校によるKYT（危険予測トレーニング）教材を活用した、小学生との安全教室を実施する。小学校では、授業後に安全マップを作り、中学校や地域へ配布する活動から連携を深める取り組みへと発展させる。安全点検は、交通と防犯の面からである。

## 取 組 内 容

- 1 実施期間：令和4年4月～令和5年1月
- 2 実施校：和木町立和木小学校（校長：折出 美保子）<拠点校>  
和木町立和木中学校（校長：亀谷 秀雄）
- 3 推進組織：和木町地域協育ネットコーディネーター（小学校、中学校）、和木町PTA連合会会長  
和木町子ども会育成連絡協議会副会長、和木小学校校長、和木小学校教頭  
和木小学校担当教諭、和木中学校校長、和木中学校教頭、和木中学校担当教諭  
学校安全アドバイザー、県教育庁学校安全・体育課、和木町教育委員会指導主事  
和木町教育委員会社会教育主事

## 4 取組内容

### (1) 安全点検（交通面、防犯面） 令和4年7月13日（水）

和木小学校地区別の集団下校を実施。そこへ和木中学校の2年生が地区ごとに分かれ合流。児童生徒はiPadを持ち、各地区の危険箇所を撮影しながら下校。

撮影した画像は、後日、中学校で集約しまとめる。



(2) K Y T教材の作成 令和4年11月8日(火)

和木中学校2年生が、7月に行った安全点検の画像から撮影場所の危険箇所について協議。協議の際は、各地区に分かれ情報を共有しながら危険箇所を洗い出し。



(3) K Y T教材を使った授業(事前指導) 令和4年12月7日(水)

K Y T教材の洗い出しから、画像を選択し、小学生への授業準備。教材研究。



(4) K Y T教材を使った授業(和木小学校) 令和4年12月13日(火)

和木中学校の生徒が、和木小学校へ出向き、K Y T教材を使った授業を行った。

授業の主眼は、「地域の写真を通して、危険箇所を探し出すとともに、それを回避する方法を考えることで、地域で安全に安心して過ごそうとする姿勢を養う」とした。

2枚の写真(交通面、防犯面)から危険箇所を見つけるとともに、回避するための実践方法を話し合う授業を展開した。

